



中 尾 利 香
(自民公明クラブ)

水道管の漏水調査にAIの活用を

効果的な調査方法を検討する

問 人工衛星とAIを活用した水道管の漏水調査について市の考えは。

答 AI等を活用した漏水調査を実施している他水道事業体の事例等の情報収集を行い、費用対効果を検証しながら、今後どのような調査方法が効果的か検討したいと考えています。

問 水道事業の経営状況から水道料金の改定は必要と考えているか。

答 人口減少による料金収入の減少と、施設更新投資の増大等により、令和10年度に当年度損益が赤字となり、留保資金の確保も厳しい見込みのため、近い将来水道料金の改定が必要と考えており、令和10年度以降の料金改定を視野に入れ、必要な取組を進めていきたいと考えています。

問 地域指導者を武道の授業の中で活用する考えは。

答 教員免許を有しない地域の人材や多様な専門分野の社会人を特別非常勤講師として迎え入れることにより、教科の一部を担当させることができます。しかし、県が任用するものであることから、県からの通知に応じて市立小中学校に活用を呼びかけたいと考えています。

問 市民図書館の経費削減やサービス向上の観点から指定管理者制度を導入する考えは。

答 導入による利点もありますが、事業者が一定期間で変更になると、図書館の継続性や安定性が損なわれる可能性があるといった課題もあることから、現時点では直営の方向性ですが、今後、指定管理者制度も含め、図書館サービスについて調査研究し、よりよい図書館運営に努めたいと考えています。



竹 島 直 樹
(柊の会)

旧洞内小学校の活用策は

市での利活用等を検討

問 廃校になった旧洞内小学校はどのように活用するのか。

答 体育館はつり天井構造であることから、安全性を考慮の上、地域利活用はしないこととし、校舎など他施設は、地域での利活用の希望がないため、今後は市での利活用を検討し、市による利用がない場合は、それ以外の有効活用に向けて検討することになります。

問 市の計画では、上下水道施設の更新に多額の費用が将来見込まれ、人口減少により税収が減る中で更新費用の低減化を実現しなければ財源不足が生じると推計しているが、低減化の具体策は。

答 施設の更新は老朽度と優先度を考慮し、重要性の高いものから行い、定期的な修繕による予防保全により、法定耐用年数よりも可能な限り長寿命化を図っています。また、中長期的な経営の安定と設備投資の最適化による適切な財源確保を目的として、上下水道経営戦略により、進捗管理を行っています。

問 市民の負担軽減のために申請書等の押印廃止を進めていると認識しているが、その進捗状況は。

答 令和3年度から市民や事業者から頂く申請、届出、その他の手続に必要な書面の押印等の約8割を廃止していますが、契約書、請求書、第三者が作成する証明書などは、引き続き押印等を求めることとしています。継続的に行政手続の簡素化に取り組んでいますが、前回の見直しから3年を経過していることから、他市の取組状況なども参考にしながら、押印等の廃止について改めて検証していきたいと考えています。